

## 令和二年度東京都立松が谷高等学校第三十八回卒業式 校長式辞

本日ここに、令和二年度東京都立松が谷高等学校第三十八回卒業式を挙げるに当たり、ご多用中にもかかわらず、保護者の皆様の御臨席を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。保護者の皆様には、立派に成長されたお子様の晴れの姿を御覧になり、今日までの日々を思い返されて胸を熱くされているのではないかと拝察いたします。お子様の御卒業を心からお慶び申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ただ今、311名の皆さんに、卒業証書を授与いたしました。

今年度着任した私にとっては、新型コロナウイルス感染症による影響で第一学期の始業式を放送で行い、その直後に一回目の緊急事態宣言が発令され、休校期間が延びるといふ異例づくめのスタートでしたが、六月から分散登校が始まり、朝の立ち番で挨拶を交わしたり、短い夏休み期間には私が担当する英語の夏季講習を受講してくれた人もいたり、忘れられない学年の生徒の皆さんとなりました。また皆さんの世代は、大学入試改革の一期生に当たり、英語民間試験導入の突然の中止やセンター試験から大学入学共通テストへの変更など、まさに激動の中で不安に包まれた世代と言えるのではないのでしょうか。そんな中でも特に3学年の担任の先生方が、皆さんを暖かく見守ってくれている姿が私にはとても印象的でした。

さて本日ここに卒業を迎えた皆さんに送るメッセージとして、このような先が見通せない時代に皆さんに求めたい姿勢について、中国の古典からのお話しをしたいと思います。

私たちは毎日、いろいろな人と付き合います。そのとき、相手によって態度をこころろ変える人は嫌われるようです。例えば、権力のある人の前に出ると卑屈になってぺこぺこしているのに、相手が自分より弱いと判断すると、急に偉そうな態度を取ったりする人のことです。こういった人を評して、「あの人は豹変する人だ」とか「豹変するいやな人」などとけなしたりします。「豹変」とは、動物の「豹」という字に「変」と書きます。豹の毛は、季節によって抜け替わり、黄色と黒の文様（もんよう）も美しくなるということで、この豹の毛が抜け替わるようにはっきりと態度が変わるといふわけです。また、態度だけでなく、発言や考え方についてもこの言葉は使われます。自分の考えや発言を、ある日突然すっかり変えてしまう人は、「あの人は豹変した」などと悪口を言われます。節操がないということです。「豹変する」という言葉は、このようによくない意味で使われることが多いのですが、もともとは違いました。「君子豹変す」ということわざがあって、正反対の意味で、つまりよい意味で使われていました。どういうことでしょうか。

本来の意味は、君子、つまり人格者は、自分が考えたり発言したりしたことであっても、間違いだと気づいたら、過ちを改めてよいと考える方に移るのが極めてはっきりしている。時代の変化に適応して自己を変革するという意味なのです。したがって、人格者は他人による評価やメンツにこだわらない。場合によっては、例えば会議の始まりと終わりで、意見が180度変わる。人格者、君子、理想の人間の行動は豹の文様のように鮮やかだと伝えています。本来は、まるで逆の意味だったのが分かっていただけでしょうか。

このことわざを踏まえて、今日、高等学校の卒業を迎えた皆さんが、これからも自分の能力を開発するために、何をすべきかを考えてみます。皆さんは日々、成長しています。身体の方は意識しなくてもぐんぐん成長します。しかし、人間の内面はどうでしょう。時には、楽な生き方に逆らい、気持ちを強く持って決断しなければならない瞬間が、これまでにありませんでしたか。つまり、よい意味での「豹変」という作業を、あなた自身の中で求められた瞬間がありませんでしたか。自分の言動を振り返り、過ちを犯してしまった、と気づいたときには、他人の目が気になるけれど、あえてガラッと変えてみる。その瞬間が成長の瞬間だったのです。

このことわざ「君子豹変す」と似た意味のことわざもあげておきましょう。「過ちて改めざる、是を過ちと謂う」というものです。過ちに気づいたとき、気づいていながらなお改めないこと、それを本当の過ちと言うのだ、という意味です。私たちは誰でも失敗を繰り返しながら生きています。一度も失敗をしない人などありません。だから、失敗を恥ずかしいと思っているだけでは進歩がない。このことは誰でも分かっているようで、実は分かっていません。失敗したときに、本質を正さずに、うわべを取り繕ってごまかす発言や行動をしてしまいがちです。そんな人に勇気を与える言葉を紹介します。「間違いを犯さなかった人とは、新しいことに挑戦しなかった人のことだ」。これは天才物理学者と言われるアインシュタイン博士の言葉です。

失敗を恐れてはなりません。失敗してもいいのです。そして、その後の「豹変」こそ、あなたの能力を開発してくれるものだと思ってください。この松が谷高校で失敗したこと以上に、これからの人生の中で皆さんは失敗すると思います。あなたが失敗するのと同じくらい周りにいる仲間も失敗します。仲間の失敗は優しく見守りましょう。さらに、良い意味で「豹変する」仲間を讃えましょう。そうすることで一人ひとりが成長し、集団が成長し、社会が良い方向に進みます。きょうここで松が谷高校から旅立つ皆さんは、夢を実現したいと願っている仲間なのです。「君子豹変す」という言葉を心に留（とど）めておいてください。

最後になりましたが、あらためて保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。お子様は、人生の中で心身の変化が最も激しいときである高校での三年間を終え、このように身体も心も立派に成長され、今、学び舎を巣立とうとしています。さぞかし感無量のこととご拝察申し上げます。またこれまでにいただいた本校への御支援と御協力に対し、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

そして卒業生の皆さんに最後に一つお願いがあります。今日、自宅に戻ったら、家族の方に一言、「今までありがとう」と伝えてください。

結びに、在校生、教職員、保護者の皆様と共に、卒業生の皆さんの「輝く未来」にエールを贈り、式辞いたします。

令和三年三月六日

東京都立松が谷高等学校長 博田 英明